



## ザ・ニュート、サマセット ローマ時代の英国の暮らしを体験できる 「ローマン・ヴィラ・エクスペリエンス」をスタート

4世紀に建築された邸宅「ヴィラ・ヴェントラム」の再建が完了  
インタラクティブなミュージアムと同時オープン  
ローマン・ブリテン時代を今に伝える出土品や考古学的発見を展示し  
最先端技術を用いた学び体験を提供



2022年8月

ザ・ニュート、サマセットは、ローマン・ブリテン時代の邸宅「Villa Ventorum（ヴィラ・ヴェントラム）」の再建を完了し、先駆的な考古学体験「Roman Villa Experience（ローマン・ヴィラ・エクスペリエンス）」を公開しました。ザ・ニュートの敷地内で発見された西暦351年築の当邸宅は、建物の基礎と残存する部分を大切に保存しながら改修が施され、新感覚のビジターセンターとインタラクティブなミュージアムと同時に今夏オープンしました。

“風の家”を意味するヴィラ・ヴェントラムの復元は、考古学者、建築家、技術者、熟練の職人を含む専門チームが、7年以上の歳月をかけて実現させました。ローマン・ブリテン時代の生活様式を学べる教育的施設としてミュージアムと共にオープンする当ヴィラは、これまで英国内で実施された同類のプロジェクトにおいて、最も野心的なものと言えるでしょう。幅56m、長さ22mのT字型の平面に、部屋、キッチン、古代ローマ式入浴施設が配置され、ブドウ園と池、そして約10.5エーカーの草原がヴィラの周りを囲んでいます。

考古学的エビデンスに基づき、日常生活において発生する音、匂い、光景などを忠実に再現したことにより、ゲストは、まるで時代をさかのぼり、ローマン・ブリテン時代にいるような感覚で、当時の日常を垣間見ることができます。ゲスト体験は、新設のイノベーティブな

ミュージアムから始まります。貴重な考古学的発見が、最新技術とインタラクティブな仕掛けを通じて大切に保存・展示されています。

### 古代ローマまでさかのぼるエステートの歴史

ローマン・ブリテン時代のヴィラの再建は、今後何世代にもわたり、1,000 エーカーにも及ぶ広大なエステートの歴史を称え、豊かな恵みに感謝し、発展させていくという、ザ・ニュートの理念が反映されています。ヴィラ・ヴェントラムは、約 1,600 年前の当時を再現するため、建物はもちろん、周辺の景観にも配慮されています。再建プロジェクトが進行する中で、ローマ時代の英国に関して未だ多くのことが解明されていないことが明らかとなり、当プロジェクト自体が、同時代に関する調査・研究を深めるユニークな機会となりました。

ヴィラ・ヴェントラムの存在が最初に確認されたのは、1843 年でした。ザ・ニュート（当時：ハドスペン）の南西側にあるカトル・ヒルで働いていた労働者たちが、コンスタンティウス 2 世在位中（337 年—361 年）の硬貨などの遺物を含む古代ローマの遺跡を発見しました。発見現場は、何世紀にもわたり人々が暮らし、有機物の蓄積により黒くなった土壤に因んで“ブラックランド”と呼ばれている農地でした。

鉄器時代からローマ時代初期にかけて人々が集団で生活を営んでいた同地は、3 世紀半ばまでに地主貴族層のジェントリが住むローマ建築の壮大なヴィラに発展しました。石弓の形を模した珍しいブローチが出土したことは、法官などローマ帝国高官との関係を示唆しています。また、当時制作されたモザイク画の大部分も発見されています。メインの応接室（タブリナム）には、ローマ神話に登場する動物と狩猟の女神ダイアナが、ダイニングルーム（トリクリニウム）には、ワインの神であるバッカスが、それぞれ描かれており、当時の家主が築いた富を象徴しています。

### ローマ時代の英国の暮らしを再解釈

当再建プロジェクトの目的は、これまでと異なる視点からローマ時代の英国の暮らしを解き明かすことでした。家長から最下位の奴隷に至るまで、かつてヴィラに住んでいた人々の生活に対する他に類を見ない貴重な洞察を提供します。

再建計画の策定にあたり、オックスフォード・アーキオロジーズとウェセックス・アーキオロジーズの 2 社が、大規模な発掘調査を実施しました。そして、考古学的知見と正確な復元に関する不動産アドバイザーとしてサウスウエスト・ヘリテージ・トラストがプロジェクトに参画し、ストーンウッド・デザインとザ・ニュート専属の建築家であるケイティ・ルイスと密接に協力しながら、考古学的解釈をデザインの各要素に当てはめていきました。内装、建具、調度品の制作を含め、伝統的な建築材と技術が随所に使用されています。

残存する断片のみを使用してヴィラを完全に再現できたことは、大きな偉業です。ローマン・ブリテン時代のヴィラが復元された例は非常にまれであり、適切なスキルを持つ職人を見つけることは、歴史的な正確さを担保するための大きな課題でした。設計を担当したストーンウッド・デザインと、工事を担当したストーンウッド・ビルダーズは、歴史家と考古学者、そして最終的には一般の人々の期待に応えるデザインが求められた非常にユニークなプロジェクトだったと説明しています。

ワトル・アンド・ダブ技法を用いた土壁、練り土を打ち固めた床、壁面のフレスコ画など、ローマ時代の建築を当時の技術を用いて再現するために、実験的な取り組みが絶え間なく行われました。壁と床全体を飾る複雑なモザイクとフレスコ画は重要なデザイン要素ですが、現代において、ブオン・フレスコとして知られる伝統的な技法を使用し、湿った石膏に直接絵を描くことができる職人は、ほんの一握りです。ザ・ニュートは、ダニエラ・マーフィー・コレラとアルベルト・フェリチが率いる修復専門チームをイタリアから招聘し、プライベート浴場内のテピダリウム（微温浴室）とカルダリウム（高温浴室）に、2点のフレスコ画を制作しました。浴場内にハイポコーストと呼ばれる古代ローマの暖房システムを再実装させることも、多くの困難を伴う作業でした。

ヴィラ・ヴェントラムの庭園は、サマセットを拠点とする景観設計事務所のアーカート&ハントが手がけました。当事務所は、近年、王立園芸協会主催のチェルシー・フラワーショーにて最優秀賞に選出されるなど、高い評価を受けています。彼らは、入念な事前調査を実施し、植物学者のマギー・キャンベル・カルバーと考古学専門のサウスウェスト・ヘリテージ・トラストと協力しながら、350年頃のローマン・ブリテン時代の遺跡で発見された植物のみを用いた庭園デザインを考案しました。庭園は、ローマ神話の月の女神ルナに捧げるパーゴラ・ガーデン、池、古代ローマスタイルのメドウ・ガーデン、ぶどう畑、チェリー果樹園、薬用植物を植栽したメディシナル・ガーデン、菜園、ラベンダーとギンバイカのトピアリー・ガーデンから構成されています。ヴィラの周りには、栗とサンザシの木が自然のままに植えられ、太陽光が降り注ぐ壁に沿ってイチジクの葉が豊かに生い茂っています。

### 先駆的な考古学体験

ヴィラ・ヴェントラムとミュージアムでの体験は、年齢はもちろん、歴史への関心の有無を問わず、誰もが楽しめる内容です。展示は、ストーリーを伝えるナラティブな空間設計を得意とする Kossmanndejong（コスマンデヨング）が担当しています。ザ・ニュートのアクティビティー施設「ストーリー・オブ・ガーデニング」と「ビーザンチウム」のクリエイティビティに富んだインタラクティブな展示も、彼らのデザインです。

ゲストは、歴史的な発見や背景を説明する音声ガイドを聞きながら各スペースを見学することが出来ます。子供向けツアーでのインタラクティブな宝探しや、情報をより深く掘り下げることができるスマートスクリーンなど、実際に体や手を動かしながら学べる多彩なゲームをお楽しみいただけるほか、バーチャルリアリティを活用してローマ時代のヴィラでの生活を体験していただけます。当時の衣装を着たスタッフが登場することにより、さらに雰囲気盛り上げます。そして体験ツアーの終わりには、ローマ時代のストリートフードを実際にお召し上がりいただけます。ワインで煮込み、蜂蜜で甘みを加えた地産のラム肉をトッピングしたメンサスタイルのフラットブレッドなど、サマセットの地域で一般的に使用されていた食材を使用し、当時の味付けを再現しています。

### 参加方法

ローマン・ヴィラ・エクスペリエンスは、ザ・ニュートのメンバーシップに含まれています。会員費は、大人1名様につき£68で、16歳以下の同伴者は無料です。17歳以上の同伴者は、会員1名様につき1日6名様まで「メンバーズ・ゲスト・パス」をご利用いただけます。メンバーズ・ゲスト・パスは、1枚£18です。

12ヶ月間有効のメンバーシップに入会されると、ザ・ニュートの庭園、森林、シカ園に無料で何度でも入園いただけるほか、アクティビティ施設の「ザ・ストーリー・オブ・ガーデニング」や「ビーザンチウム」、庭園内のカフェ&レストラン、ファーム・ショップ、ハウス&ガーデン・ショップも併せてご利用いただけます。アクティビティも豊富にご用意しており、1日2回開催されるデイリー・ガーデン・ツアー、週2回開催される森林ツアー、さらに、1年を通じたワークショップ&イベントプログラムにご参加いただけます。このほか、パートナー・ガーデンへの入園、デジタル・ニュースレター、オンラインショップでの英国国内無料配達サービスなどもご利用いただけます。ホテルに宿泊されるゲストは、メンバーシップに無料でご入会いただけます。

ローマン・ヴィラ・エクスペリエンスの所要時間：2.5時間以上

夏季の営業時間：10:00~17:00（最終入館時間：15:20）

冬季の営業時間：10:20~15:30（最終入館時間：13:40）

### ヴィラ・ヴェントラムのタイムライン

- |             |   |
|-------------|---|
| 1834        | エステートで働いていた労働者たちが、コンスタンティウス2世在位中（337年—361年）の硬貨2枚を含む遺物と遺構を発見     |
| 1966 - 70   | 最初の考古学的調査が実施され、最大210フィートにも及ぶ遺跡の構造が明らかになる。モザイク床の大部分、陶器、コインが発見される |
| 2015 - 2016 | オックスフォード・アーキオロジーズが大規模掘調査を実施                                     |

2015 – 2019	ウェセックス・アーキオロジーが全面的な発掘調査を実施
2018	ストーンウッド・デザイン・アーキテクツがプロジェクトに参画
2018	ポンペイやその他ヨーロッパ様式のヴィラの再建事例を研究
2019	2月－再建計画が完成
2019	7月－再建工事を開始
2020	7月－基本構造が完成し棟上げを行う
2020	10月－壁画、天井画、モザイク画の制作を開始
2021	5月－ヴィラの本館部分が完成。浴場内のフレスコ画の制作を開始
2021	6月－モザイク画の取り付けと各部屋の装飾を完了
2021	8月－ヴァーチャルリアリティのコンテンツ制作を開始
2022	3月－庭園が完成
2022	5月－オーディオビジュアル体験を含むゲスト体験内容を最終確認
2022	6月－公開

#### ABOUT THE NEWT IN SOMERSET:

ザ・ニュート、サマセットは、イギリス南西部サマセット州のブルートンとキャッスル・ケアリーの間に位置する歴史あるエステート（ホテルと広大なガーデンの敷地）です。豊かな森、数エーカーにもわたる庭園、果樹園を含む農園、そしてジョージアン様式の邸宅と農舎を有する広大なエステートは、代々のオーナーが大切に改修を重ね、建築当時の面影を残しながら進化し続けています。1980年代半ばに、有名な庭園デザイナー兼作家のペネロピ・ホブハウスによって初めて一般公開されました。最新の庭園デザインは、景観デザイナーのバトリス・タラベラが手がけたものです。数千年にも渡る園芸の歴史に学び、装飾性と生産性の両方の視点からデザインされた庭園は、美しい景観で目を楽しませるだけでなく、美味しい食材が育つ菜園でもあります。

敷地内のハドスペン・ハウスとファームヤードは、現オーナーのカレン・ルースが改装を施し、ラグジュアリーなホテルとスパに生まれ変わりました。サマセットの歴史、サステナブルな農業、職人によるものづくりを大切にする当エステートは、レストラン、ファーム・ショップ、アトラクション施設、アップルサイダー（シードル、リンゴを原料とした酒）を造り貯蔵する「サイダー・プレス&セラー」も備えています。詳しくは、[thenewtinsomerset.com](http://thenewtinsomerset.com) をご覧ください。

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、

ザ・ニュートの日本地区GSA、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。

Tel : 03-3403-5328 Fax : 03-3403-5329 E-mail : [info@kentosnetwork.co.jp](mailto:info@kentosnetwork.co.jp)

Web : [www.kentosnetwork.co.jp](http://www.kentosnetwork.co.jp)



[https://www.instagram.com/kentos\\_network/](https://www.instagram.com/kentos_network/)

